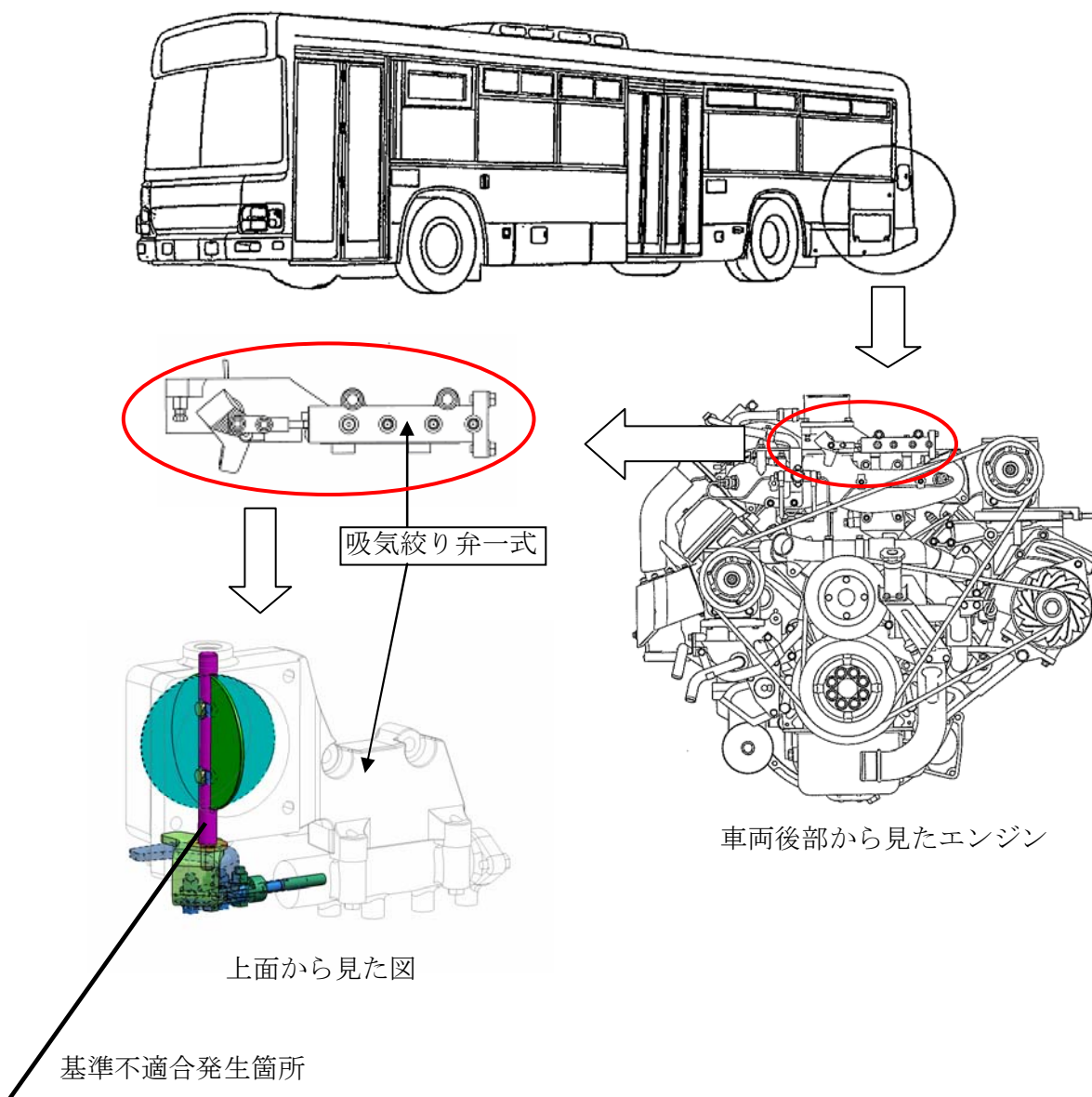


改善箇所説明図



原動機の吸気絞り弁のシャフトの強度が不足しているため、閉弁方向に作動した際のストップボルトとの衝突により、シャフトに亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、シャフトが折損し、当該吸気絞り弁が閉じたままとなることから原動機が不調となり、最悪の場合、走行中にエンストして再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容: 吸気絞り弁の恒久対策品の準備に時間を要することから、暫定対応として、全車両、吸気絞り弁一式を暫定対策品と交換する。なお、恒久対策品の準備ができ次第、後日恒久対策品と交換する。

識別： インテークシャッタのケース部に白色ペイントを塗布する。

注： は交換する部品を示す。